



Dr.塚田の健康コラム

ちょっと役立つ

コロナ第7波にどう対応…

塚田芳久(つかだ・よしひさ) / 1979年新潟大学医学部卒。2005年から新潟県立十日町病院長。16年から22年まで同新発田病院長、20年から新潟県医師会副会長 / 新潟県ボウリング連盟会長(03年~)、JBC理事(08年~22年)、同副会長(20年~22年) / 日体協公認スポーツドクター、JOC医・科学強化スタッフ

日本の新型コロナウイルス感染者数は世界最多だそうです。ところが、コロナ肺炎を病院で見るとは少なくなりました。ワクチン効果は絶大ですね。変異株の性質なのか、感染後1週間程度の急な悪化も少なくなりました。症状のある人を検査すると、高確率に陽性です。潜伏期間が短くなり、濃厚接触者を生活範囲のなかに限定できるようになりました。従来の積極的疫学調査のような、大きな囲い込みの必要性は低下しました。

期待された画期的なワクチンも、変異株の巧妙さには追いつけません。しかし、ワクチン接種や症状のない不顕性感染などにより、集団免疫が高まり、感染が早く縮小してほしいですね。

感染力の高い変異株がこれだけ巷に広がると、感染対策の専門家である医療者や国の要人も、感染から逃れるのが難しくなりました。絶対感染しないゼロコロナを目指すことは難しくなったのです。

次に目指すは、かかっても重症化しないことです。持病の悪化しやすい高齢者や脳炎などが心配な小児は、ワクチン接種を受け、症状が出たら早期診断して早期治療の検討を受けましょう。また、経済活動制限を伴う行動抑制の有効性は低下し、若い人を中心に感染は広がった状況が続くでしょう。ウィズコロナとして、個人の感染対策継続をお願いします。

ウィズコロナで社会活動は変わりました。飲食時の密を避け



るため、飲食店や冠婚葬祭業やイベント会場は敬遠されました。一方で、マスク、体温計、経皮的酸素飽和度測定器、二酸化炭素測定器など、コロナ関連にニーズが高まり、宅配業などは人手不足に陥るほどです。

われわれ医療界も、救急外来や在宅医療の需要は高く、一般診療やガン等の慢性疾患は手薄になり、敬遠され、知らぬ間の病状悪化を心配しています。感染対策と同時に、持病の管理、検診による疾病予防、運動など、日常的な健康維持活動を再開してください。

感染禍の長期化による社会変化に対し、冷静に賢明に対応したいですね。



知って得するボウリング用品の知識

佐藤秀樹プロが指南

6. 日々のメンテナンス編



佐藤秀樹(さとう・ひでき) / 1982年8月22日生まれ、山梨県出身。2007年プロ入り(46期 / ライセンスNo1137)。172cm68kg。プロショップVEGA所属(プロショップ直販部マネージャー) / JPBA公認C級インストラクター、JBC公認ドリラー(シルバー)。

今回はメンテナンスに関して、大まかな流れを説明しました。今回は、日々のメンテナンスについてお話しさせていただきます。ここでいう日々のメンテナンスというのは、自分で簡単にできる範囲のことを指します。

皆さんが使用しているリアクティブボールは、オイルを吸収するように作られていて、オイルに強いボールほど、その吸収速度が速くなっています。それが問題になり、ボール製造に関してオイルの吸収時間に対する規制が設けられたほどです。



ボールクリーナーは3タイプある。性能に大きな差はないので、コストや使いやすさを考えて自分好みのものを選びましょう

1投投げるごとにオイルがついてくるのが確認できると思います。そのオイルを毎回タオルできれいにふくことが、メンテナンスの第一歩です。ボウリング場に設置してあるタオルはオイルまみれになっているものも

あるので、前回紹介したマイクロファイバータオルやシャミータオルなど、自分専用のものを用意するようにしましょう。

ボウリングを楽しんだあとは、ボールクリーナーを使用して汚れやオイルをふき取って

きましょう。ボールクリーナーは大きく分けて下記の3種類があります。

- ①一般的なスプレータイプ
- ②液が飛び散らないムースタイプ
- ③簡単便利なシートタイプ

基本的な洗浄力に違いはないので、コストや使いやすさなどを考慮して好きなものを選びましょう。一般的な使い方としては、スプレーやムースを吹きかけたあと少し時間を置くとオイルが浮いてくるので、それを用意したタオルでふき取れば完了です。液が乾く前にふき取るように注意してください。スプレーやムースの場合には、手で塗り広げるなどして節約することが可能ですが、シートタイプは使い捨てとなりますので、手

持ちのボールが1個の場合にはコストが悪くなってしまうかもしれません。

オイルリムーバーというクリーナーの強化版商品もありますが、こちらは毎回やる必要はなく10~20Gごとで十分でしょう。使い方はリムーバーを吹きかけて10~15分ほど時間を置いたのち、クリーナーを使用してふき上げましょう。オイルリムーバーは使用しなくても、定期的にオイル抜きをすれば問題はないと思います。

最後になりますが、ボールクリーナーにもルールがあります。USBCで認証されたクリーナーを使わないと、試合(公式戦)で失格になったり、ボールにダメージを与えることがあるので注意してください。また試合中にクリーナーを使ってボールをふくのルール違反です。



棚橋孝太プロのプロショップ探訪

夢を形にしたプロショップ

⑥ボウラーズ サポート ドリーム (大阪市西区) 前編

今回紹介するのは、大阪の京セラドームにほど近い西区境川の街中にある『ボウラーズ サポート ドリーム』です。ちなみに内容が濃くて1回では収まらなかったため、前半と後半の2回に分けて紹介させていただきます。

同ショップがオープンしたのは2019年の4月。ボウリング場勤務を15年経験したという店長の武本真明さんは、ナショナルチームで長く活躍していたトップボウラーでもあります。なぜこうした専門店をオープンしようと思ったのかを聞いてみました。

「ボウリング場に勤務時代は、プロショップ業務の他に、フロ

ント業務やフロア業務を兼務していたために、ボールを作りに来られたお客様を待たせてしまうことがしばしばあって、申し訳ないという気持ちが常にありました。ボウラーの要望に耳を傾けて、すぐにそれに応えたい、そのためには、自分のプロショップを持ちたいと考えるよ

うになりました」

それを実際の形にしたのが、『ボウラーズ サポート ドリーム』でした。

学生時代に高田誠氏(2021年9月没)に出会い、自分のメジャーや投球に関することを教わり、その教えに感銘を受け、自分も高田さんのようなドリ



▲2019年4月に開業した、独立した店舗の『ボウラーズ サポート ドリーム』

◀◀ 圧巻の品ぞろえ



▲武本ファミリー(奥さんはトップボウラーの中野麻希さん)と、スタッフの岡村捺稀さん(右端)

からも頑張っていきます」

次号の後半部分では、ドリルに対する信念や、どういった加工ができるかなどを紹介し

棚橋孝太(たなはしこうた) / 1982年1月19日生まれ、高知県出身。2007年プロ入り(46期 / ライセンスNo1145)。168cm72kg、右投げ。優勝1回。JOC強化スタッフ・日本スポーツ協会公認指導員・USBCシルバーコーチ・JBC公認ドリラー